アグリフロンティア 1

年商139億円の牛飼い

延与 雄一郎さん（39）（北海道上士幌町）

社員は口をそろえる。「怪物」。北海道上士幌町の延与雄一郎（えんよゆういちろう）さん（39）は、わずか10年で畜産のギガファームを築き上げた。

年商139億円、牛の飼養頭数2万1000頭、従業員290人。国内最大級の畜産グループを率いる総帥だ。

肉牛、酪農、食品の3部門、10の会社からなる「ノベルズグループ」。肥育、育成、酪農合わせて八つの牧場は、若い社員が切り盛りする。

社員の平均年齢は33歳。社員は毎日、データを追う。乳量、事故率、餌量、出荷体重、平均体温……。数字が悪くなれば、すぐに社長の延与さんから改善策の提出を求められる。

トップと社員の意思疎通が、成長を支える。東京五輪・パラリンピックが開かれる2020年には、売り上げ300億円を計画。「成功するイメージを思い浮かべ、実行する。それだけだ」と言い切る。

頂点に立つことを常に考えてきた。根底に、幼心に染み付いた反骨心がある。地域への深い愛情がある。この思いが青年実業家を突き動かす。

◇

若者の力が、農業を舞台にしたビジネスに変革を起こしている。既成概念にとらわれない自由な発想が、推進力となり、その動きが大きなうねりとなっている。キャンペーン第1部では、若者が先頭に立つ、農業ビジネスの最先端を追った。

（7回掲載）

16面に続く

若者力 キャンペーン 第1部

「数字はうそをつかない。言い訳は一切聞かない」と延与さん。妥協を許さない経営者の厳しい一面。一方で、社員との飲み会では、屈託なく世話好きな顔を見せる。誰かのグラスが空けばいち早く気付いてビールを注ぐ。自ら肉を焼き、社員に取り分ける。コミュニケーションを欠かさない。

キャンペーン「若者力」への感想、ご意見をお寄せ下さい。ファクス03（3257）7221。メールアドレスは wakamono ryoku@agrinews.co.jp。フェイスブック「日本農業新聞若者力」も開設中。

大勢の若手社員を率いる延与社長（中央）。「技術で世界一を目指す」と意気込む（北海道上士幌町で）

©日本農業新聞　無断複製転載を禁じます。